

# 原発題材の劇 放送せず

## 福井ケーブルテレビ 高校演劇祭

### 83年の敦賀市長差別的発言紹介

毎年秋にある福井県高校演劇祭の全作品を放送している地元ケーブルテレビの番組で、今年も参加12校のうち、県立福井農林高の劇だけが放送されないことになった。同校の劇は原発が題材となり、せりふに差別的な用語が入っていた。どんな経緯だったのか。

今年と同演劇祭は9月18、20日、福井市内で無観客で開かれた。福井ケーブルテレビが取材し、例年は12月に全校分を放送する。同テレビによると、農林高演劇部が演じた翌日の20日、同テレビの担当者が、演劇祭を主催する県高校文化連盟(高文連)演劇部会長の教諭に「差別表現がある。放送して問題ないか」と懸念を伝えたという。

農林高の劇の題名は「明日のハナコ」で、女子生徒2人の掛け合いで進む。1948年の福井地震以降、東京電力福島第一原発事故などに触れながら、多くの原発がある福井の歴史と2

人の生き方を描く。台本は農林高演劇部の元顧問の玉村徹さん(60)が書いた。劇の中では主人公の女子生徒が、福井の過去の出来事を振り返る中で、83年に同県敦賀市の当時の市長が講演会で話した言葉を紹介している。現代では身体障害者への差別を表す言葉を

用いて、「放射能の影響で将来に障害のある子が生まれる恐れはあるが、交付金などが入るため原発は誘致すべきだ」と主張する発言。当時から「暴言」と指摘されていた。

ケーブルテレビで担当者の指摘を受け、高文連演劇部会の顧問は9月20日と10月8日、農林高の劇について協議。会議には各校の演劇顧問らが参加した。

演劇部会長の島田芳秀・県立丸岡高校長によると、弁護士にも助言を仰いだ協議の結果、テレビ側に「そのまま放映した場合、差別表現があるため、演じた生徒や関係した職員が批判や中傷を受ける可能性がある」と伝えた。放映の是非の判断は任せたいという。

同テレビは10月中旬、農林高の劇だけを放送しないと決めた。2006年から原則的に全作品を放送してきた。農林高の劇は、各校の顧問や部員が見られるインターネット上の動画からも除かれた。

ケーブルテレビの担当者も取材に、「顧問会議の窓口の先生から『農林さんは今回はなかった形で放送してください』と伝えられた」と話す。放送見送りを決めた主体について、同テレビと顧問会議の説明は食い違っている。

差別表現の部分の音声を伏せるなどして放送する考えはなかったか。同テレビは「顧問会議側から要望があれば検討した」、顧問会議の島田部会長は「音声を伏せると、かえってその部分にフォーカスされる」と思ったと取材に答えた。

顧問会議の出席者の一人は取材に、「9月20日の会議で、『福井ケーブルテレビに原発関係企業がスポンサーについているかもしれないから大人の判断を』と言った人がいた」と証言した。高文連が電力会社から支援を受けていることを指摘する声も出たという。

島田部会長は取材に、「『原発のテーマで上演されたことは問題ない』と述べ、テレビ側に懸念を伝えることを判断したのは差別表現の存在のためと説明。顧問会議の場で出席者が『大人の判断』などの発言をしたかという問いには、『記憶がない』と答えた。

敦賀市に原発を持つ日本原子力発電が設置する「けいんであいあい福井財団」(同市)は例年、県高校総合文化祭(総文祭)など高文連の事業に助成金を出しており、21年度は60万円を助成する。演劇祭も総文祭のイベントの一つだ。

台本を書いた玉村さんは劇中の差別表現について「当時の市長の話を正確に伝えるための表現。批判的に取り上げており、差別の意図はない」と話す。11月1日、放送見送りの撤回を求める要望書を高文連演劇部会長長あてに提出。台本をネット上に公開し、10日から「表現の自由を奪わないで」と題するネット上での署名活動を始めた。27日現在、賛同は9千人を超えた。

柳川迅 小田健司、中田和宏

- 9月18日 福井県高校演劇祭が無観客で開幕
- 19日 福井農林高の生徒たちが「明日のハナコ」を上演
- 20日 福井ケーブルテレビ側が「差別用語がある」と懸念を県高文連演劇部会に伝達し、各校の顧問らが協議
- 10月8日 顧問らが再協議。「生徒らが中傷を受ける恐れがある」との考えを同テレビ側に伝えることを確認
- 中旬 同テレビが放送見送りを決める
- 11月1日 台本を書いた玉村徹さんが決定撤回を求める要望書を提出
- 10日 玉村さんらがネット上で署名集め開始

### 生徒の表現活動 抑えたなら残念

山田健太・専修大学教授(言論法)の語  
台本を眺んだ限りでは、差別的に言葉を使っているとは言い切れないだろう。大切なのは生徒の発表を温かく見守る態度。それが表現の自由の発露の場である発表会を運営、協力する者の責務だ。「大人の判断」発言で生徒の表現活動を抑えてしまったのであれば、とても残念。こうした事例が、政治的・社会的な議論から回避するような社会的空気を作っていると思う。



福井農林高の劇は「明日のハナコ」